

高校地理プリント（過去問類似）

地図と地理情報 No.5

名前

得点

/10

問1 2世紀のアレクサンドリアで活躍し、経緯線を用いた世界地図の考案や、天動説に基づく天文学の体系化を行った古代ローマ期の地理学者・天文学者は誰か。（2005年 全国公立入試 類似）

1. アリストテレス 2. エラトステネス 3. プトレマイオス 4. アルキメデス

問2 日本の地形図において、歴史的な土地利用や集落の起源を示す手がかりとなる地名がある。古代の律令制下において、国司が政務を執った地方行政機関の所在地に由来し、現代でも全国各地の集落名などに残されている地名を何というか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 府中 2. 郡家 3. 国分 4. 国府

問3 日本の地方都市において、かつての主要な交通路に沿って形成された古い家屋が密集する狭隘な街並みは、自動車交通の急速な普及に対応した道路の拡幅や近代的な整備が行われなかったことで、今日まで保存されることとなった。このように、自動車が生活や産業の主たる移動手段として普及した社会現象を何というか。（2024年 全国公立入試 類似）

1. コンテナリゼーション 2. モータリゼーション 3. モーダルシフト 4. パークアンドライド

問4 河川の作用によって形成される地形で、平坦な段丘面と、それに続く急な段丘崖からなる階段状の地形を何というか。地形図上では、段丘面では等高線の間隔が広く緩勾配を示し、段丘崖では等高線の間隔が極めて狭く急勾配を示す特徴がある。（2013年 全国公立入試 類似）

1. 河岸段丘 2. 自然堤防 3. 谷底平野 4. 後背湿地

問5 ある地域において、日常生活における住民の移動パターンや行動圏を明らかにするために、一日の移動目的や交通手段を個人単位で調べる地域調査の手法は何か。（2004年 全国公立入試 類似）

1. タウンウォッチング 2. インターネット調査 3. リモートセンシング 4. パーソントリップ調査

問6 航空図などに利用される地図投影法について、図の中心から任意の地点への直線が最短コース（大圏航路）を表し、中心からの距離と方位が正しく表現される一方、中心以外の任意の2点間を結ぶ直線は最短コースにならないという特徴を持つ図法を何というか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 正距円筒図法 2. 正距円錐図法 3. 正距方位図法 4. 正積円筒図法

問7 日本の諸地域において、等高線が山側へ食い込んでいる谷の出口（谷口）を堰き止めて造られた人工の貯水施設で、豪雨や地震による決壊時に下流へ浸水被害をもたらす危険性があることから、到達時間や浸水範囲を示したハザードマップの作成が進められているものを何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 用水路 2. 貯水池 3. 遊水地 4. ため池

問8 中山道の宿場町であり、急峻な地形の尾根筋に沿って坂のある街並みが形成されている。島崎藤村の生家があり、小説『夜明け前』の舞台としても知られる、現在の岐阜県中津川市に位置する代表的な集落の名称を答えよ。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 馬籠宿 2. 洗馬宿 3. 妻籠宿 4. 落合宿

問9 日本の山地において、治水や利水を目的として河川を堰き止める大規模な構造物が建設された。これに伴い、かつて谷沿いに存在した森林や集落が水没し、地形図上では細い河川が山脚に沿って樹枝状に広がる広大な水域へと変化した。このような開発事業によって山間部に形成される人工的な湖沼を何というか。（2013年 全国公立入試 類似）

1. 人工湖 2. ダム湖 3. 調整池 4. 貯水池

問10 地形図において、地表の起伏を表現するために標高の等しい地点を結んだ線が、標高の高い方（山頂側）に向かって食い込むように湾曲している場所は、雨水が集まり流れる経路となる。このような、湾曲部を結んでできる、上流から下流へと水が流れる流路に対応する線を何というか。（2014年 全国公立入試 類似）

1. 緯線 2. 稜線 3. 谷線 4. 経線

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 3 プトレマイオス	ヘレニズム・ローマ期の天文学者・地理学者であり、地球を中心とする天動説（宇宙体系）を大成させたほか、経緯線を用いた世界地図を考案した。彼の地理的知識は、のちの大航海時代における探検家たちにも大きな影響を与えた。
問2	答え 4 国府	律令制のもとで、全国の令制国に置かれた地方行政機関（国衙）の所在地は「国府（こくふ・こう）」と呼ばれた。この地名は、現代の地形図においても歴史的な集落の起源を示す重要な手がかりとして残されている。同様の歴史的地名には、郡の役所跡を示す「郡家（ぐうけ）」や、公用の宿舎・交通要衝を示す「駅家（うまや）」などがある。
問3	答え 2 モータリゼーション	自動車が発達し、人々の生活や産業において自動車交通が中心的な役割を果たすようになる現象をモータリゼーションと呼ぶ。モータリゼーションが進化した地域では、道路の拡幅やバイパス道路の建設、郊外型ショッピングセンターの進出などの再開発が行われることが多い。一方で、こうした大規模な土地改変や道路整備が行われなかった旧街道沿いなどでは、狭隘な道路と古い家屋の並びといった歴史的景観がそのまま残される傾向にある。
問4	答え 1 河岸段丘	河川の浸食・堆積作用と地盤の隆起などによって形成される階段状の地形を河岸段丘と呼ぶ。かつての河床や氾濫原であった平坦な部分は段丘面と呼ばれ、地形図上では等高線の間隔が広く平坦（緩勾配）に描かれる。一方、河川の下刻作用によって削られた崖部分は段丘崖と呼ばれ、等高線が密集して急勾配であることを示す。
問5	答え 4 パーソントリップ調査	住民の日常生活における移動パターンや行動圏を明らかにするためには、個人の1日の移動（トリップ）を追跡する調査が有効である。人口ピラミッドの作成は人口構成を示すものであり、空中写真の比較は土地利用の変化を示すものであるため、住民の具体的な移動実態を把握するにはパーソントリップ調査が最も適当である。
問6	答え 3 正距方位図法	この図法は、図の中心から任意の点への距離と方位が正しく表現されるため、中心から引いた直線がすべて大圏航路（最短コース）となる。しかし、中心以外の2点間を結ぶ直線は最短コース（大圏航路）にはならず、また面積や角度も正しく表現されないという特徴を持つ。航空路の選定などに実用されている。
問7	答え 4 ため池	地形図において、等高線が山側へ食い込んでいる谷の出口（谷口）を堰き止めて造られた貯水施設は「ため池」と呼ばれる。降水量の少ない瀬戸内地方などで農業用水を確保するために古くから造られてきたが、老朽化や自然災害による決壊リスクが指摘されており、ハザードマップによる防災対策が進められている。決壊時には下流へ水が流れるため、決壊地点から離れるほど浸水が始まるまでの時間は長くなり、浸水深は浅くなる特徴がある。
問8	答え 1 馬籠宿	馬籠宿は、中山道43番目の宿場町であり、木曾路の最南端に位置する。地形的には、谷底ではなく尾根筋の斜面に沿って集落が形成されている「坂の宿場」として有名である。島崎藤村の出身地であり、彼の代表作『夜明け前』の舞台となったことでも広く知られている。
問9	答え 2 ダム湖	山地において河川を堰き止めてダムを建設すると、上流側の谷沿いの土地が冠水し、かつての森林や農地、集落などが水没する。これにより、地形図上では細い谷川だった場所が、周囲の尾根に囲まれた樹枝状の広大な水域へと変化する。この人工的に造られた湖沼はダム湖（貯水池）と呼ばれ、水源の確保や洪水調節、水力発電などに利用される。低地における土地改良による湿地の農地化などとは異なり、山地特有の急峻な谷地形を反映した複雑な形状の水域が形成されることが特徴である。
問10	答え 3 谷線	地形図上で標高の等しい地点を結んだ線（等高線）が、標高の高い方へ向かって湾曲している部分は、周囲よりも低くなっている「谷」にあたる。この湾曲の最も奥まった部分（最も標高の高い側へ凸になっている部分）を結んだ線は、雨水が集まって流れる経路となり、これを谷線と呼ぶ。水は重力に従って標高の高い上流から低い下流へと流れるため、谷線は実際の河川の流路や水流の経路と一致する。